



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 シノブフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2903 URL <https://www.shinobufoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 崇志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部副本部長 (氏名) 長尾 正史 (TEL) 06(6477)0113
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	37,358	△6.1	887	△22.7	905	△21.9	674	△34.0
2020年3月期第3四半期	39,800	7.2	1,148	23.5	1,158	22.6	1,022	60.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 649百万円(△36.4%) 2020年3月期第3四半期 1,021百万円(54.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	54.26	53.35
2020年3月期第3四半期	82.39	80.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,810	13,241	42.6
2020年3月期	29,978	12,796	42.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 13,120百万円 2020年3月期 12,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
2021年3月期	—	8.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	△6.6	980	△22.2	1,000	△20.9	720	△34.2	58.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	13,500,000株	2020年3月期	13,500,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,034,511株	2020年3月期	1,094,801株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	12,430,746株	2020年3月期3Q	12,404,425株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況で推移いたしました。昨年5月の緊急事態宣言解除後は、感染拡大防止策を講じながら経済活動が再開され、各種政策の効果などにより個人消費は持ち直しの動きが見られるものの、国内の感染者数が再度増加傾向にあるなど、未だ感染収束の見通しは立っておらず、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは中食業界に属し、主要な取引先であるコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア等へ弁当、おにぎり、調理パン、寿司及び惣菜等を製造販売しており、当社グループを取り巻く環境は、在宅勤務の増加や外出機会の減少などにより中食から内食への動きがみられ、また大学休校に伴う売店の休業、行楽やイベント需要の落ちこみなどもあり引き続き厳しい状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは、「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画（2021年3月期～2025年3月期）を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「人財戦略」、「環境戦略」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、冷凍食品事業に新規参入し、まずは冷凍おせちを製造するなど業容拡大に努めました。「内製化」「良品づくり」にこだわり、新しい生活様式による消費者需要の変化に応えるべく、引き続きロングライフ商品の開発に取り組んでまいります。

生産面では、食に携わる企業としての社会的責任を全うするため、従来からの衛生管理に加え、政府のガイドラインに基づいた新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組み、お客様への安全・安心な商品の提供に注力いたしました。

コスト面では、購買部による主要食材の調達方法の見直しを継続して行うことに加え、売上高減少下における労働時間の短縮、機械化などによる生産性の向上、各工場間での横断的な製造経費の見直しや、テレビ会議の積極的な活用など徹底した経費削減に取り組みました。

人財面では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための社内ルールを周知徹底し、従業員の健康管理に努めつつ、職種別の会議体や勉強会の実施、また資格取得の推進を図りスキルの向上と均一化に取り組みました。

環境面では、弁当の容器や工場で使用する消耗品にバイオマスプラスチック含有製品を選定するなど環境負荷の軽減に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高373億5千8百万円（前年同四半期比6.1%減）、営業利益8億8千7百万円（前年同四半期比22.7%減）、経常利益9億5百万円（前年同四半期比21.9%減）、投資有価証券売却益5千5百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益6億7千4百万円（前年同四半期比34.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加を主因に前連結会計年度末に比べ8億3千2百万円増加し、308億1千万円となりました。当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、1年内返済予定の長期借入金の増加を主因に前連結会計年度末に比べ3億8千6百万円増加し、175億6千8百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益6億7千4百万円を計上する一方で、配当金の支払2億1千7百万円等により前連結会計年度末に比べ4億4千5百万円増加し、132億4千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年8月14日に公表いたしました決算短信の通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年2月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,032	4,894
売掛金	5,167	5,216
商品及び製品	27	27
原材料及び貯蔵品	230	289
その他	741	168
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,198	10,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,931	8,745
機械装置及び運搬具（純額）	3,536	3,301
土地	7,050	7,110
建設仮勘定	85	120
その他（純額）	435	377
有形固定資産合計	20,038	19,654
無形固定資産	85	83
投資その他の資産		
その他	664	482
貸倒引当金	△8	△6
投資その他の資産合計	655	476
固定資産合計	20,780	20,214
資産合計	29,978	30,810
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,718	3,805
1年内返済予定の長期借入金	1,698	2,069
未払金	2,264	2,257
未払法人税等	232	64
賞与引当金	286	140
その他	642	778
流動負債合計	8,844	9,116
固定負債		
長期借入金	8,029	8,200
退職給付に係る負債	192	154
その他	115	97
固定負債合計	8,337	8,452
負債合計	17,182	17,568

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693	4,693
資本剰余金	3,015	3,023
利益剰余金	5,590	6,047
自己株式	△653	△617
株主資本合計	12,645	13,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	△0
退職給付に係る調整累計額	△33	△26
その他の包括利益累計額合計	△1	△26
新株予約権	146	116
非支配株主持分	4	4
純資産合計	12,796	13,241
負債純資産合計	29,978	30,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	39,800	37,358
売上原価	31,605	29,648
売上総利益	8,195	7,710
販売費及び一般管理費	7,047	6,822
営業利益	1,148	887
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	25
その他	26	30
営業外収益合計	49	56
営業外費用		
支払利息	35	36
その他	2	2
営業外費用合計	38	38
経常利益	1,158	905
特別利益		
固定資産売却益	222	—
投資有価証券売却益	—	55
新株予約権戻入益	—	0
違約金収入	32	—
特別利益合計	255	55
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産除却損	35	9
特別損失合計	41	9
税金等調整前四半期純利益	1,372	952
法人税、住民税及び事業税	258	173
法人税等調整額	91	103
法人税等合計	349	277
四半期純利益	1,023	674
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,022	674

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,023	674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△32
退職給付に係る調整額	1	7
その他の包括利益合計	△1	△25
四半期包括利益	1,021	649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,020	649
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。